

Unified Communications Manager 4.x から 6.x への移行のロールバック手順

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ロールバック手順](#)

[関連情報](#)

概要

ロールバックは、テレフォニー ソリューションが適切なサービスを提供できない重要な問題が発生した場合に検討することができます。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

ロールバック手順

次の手順を実行します。

1. ロールバックの判断の原因となった、イベントに関連するあらゆるログ情報を収集します。
2. DHCP 設定を復元し、パラメータ 150 を初期値に設定します。次に、例を示します。パブリッシャの IP アドレス、その後、サブスクリバの IP アドレス。
3. すべてのデバイスプールで SRST を無効にし、すべての IP 電話をリセットします。
4. Cisco Unified Communications Manager 6 サーバをシャットダウンし、Cisco Unified Communications Manager 4 クラスタを次の順で起動します。Cisco Unified Communications Manager 6 のパブリッシャをシャットダウンするか、2 本のネットワークケーブルを抜きます。Cisco Unified Communications Manager 4 用のパブリッシャを開始します。すべてのサービスが開始されていることを確認します。サーバが開始したけれども、ネットワークに接続されていない場合は、そのサーバを接続して再起動します。Cisco Unified Communications Manager 6 のサブスクリバ 1 をシャットダウンするか、その 2 本のネットワークケーブルを抜きます。Cisco Unified Communications Manager 4 用のサブスクリバ 1 を開始します。すべてのサービスが開始されていることを確認します。サーバが開始したけれども、ネットワークに接続されていない場合は、そのサーバを接続して再起動します。Cisco Unified Communications Manager 6 のサブスクリバ 2 をシャットダウンするか、その 2 本のネットワークケーブルを抜きます。
5. IP 電話の登録を監視します。
6. 各音声ルータ ゲートウェイのバックアップ設定を復元します。サブスクリバ 1 への各 E1 の登録を、保存、リセット、および確認します。
7. すべてのデバイスプールで SRST を復元し、すべての IP 電話をリセットします。
8. IP 電話で、内部、着信、および発信通話の基本的な通話テストを実行します。
9. すべてのサービスが Cisco Unified Communications Manager サーバ上で実行されていることを確認し、CRS/ TAPS を検討するために、IP 電話で TAPS サーバに電話します。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)